

FY2025活動計画

2025年7月

FY 2024から継続して取り組むテーマ

① 優先的に取り組むもの

- 国内社債市場の活性化に向けた課題解決

(「機動的な起債環境の整備」「投資家(層)の拡大」等、国内社債市場の課題について)

② 環境変化や会員意見を踏まえ、必要に応じて取り組むもの

- 財務人材の育成・ノウハウ継承

その他テーマ

- 財務オペレーションの効率化・高度化 (RPA、Fintech 等)
- 財務戦略 (格付会社対応、金融機関政策、株主還元政策、調達戦略等)
- リモートワークにおける財務活動の課題
- グローバルキャッシュマネジメント (金融子会社の機能高度化)
- ブロックチェーン基盤を活用した社債型セキュリティ・トークン (デジタル債)

①優先的に取り組むもの

テーマ	社債市場の活性化
概要	<ul style="list-style-type: none">➤ 「金利のある世界」において、企業には、成長投資の拡大と継続が求められる中、資金調達を支える国内社債市場の活性化が必要。「機動的な起債環境の整備」「投資家(層)の拡大」等、国内社債市場の課題について、経産省や金融機関等と会員企業による継続的なディスカッションを行うことで、課題解決に繋げていく。

② 環境変化や会員意見を踏まえ、必要に応じて取り組むもの

テーマ	財務人材の育成・ノウハウ継承
概要	<ul style="list-style-type: none">➤ 中堅・若手世代を中心に人材流動性の高まり、キャリア・働き方の変化が見られる。➤ 掛かる環境下、財務人材の確保・育成・ノウハウ継承は重要な課題。➤ 「財務人材に必要なスキルセット」、「若手人材育成策」、「ローテーション（他部門との人材交流含む）」、「財務におけるDX人材像」等、様々な観点からディスカッションを行う。

テーマ候補

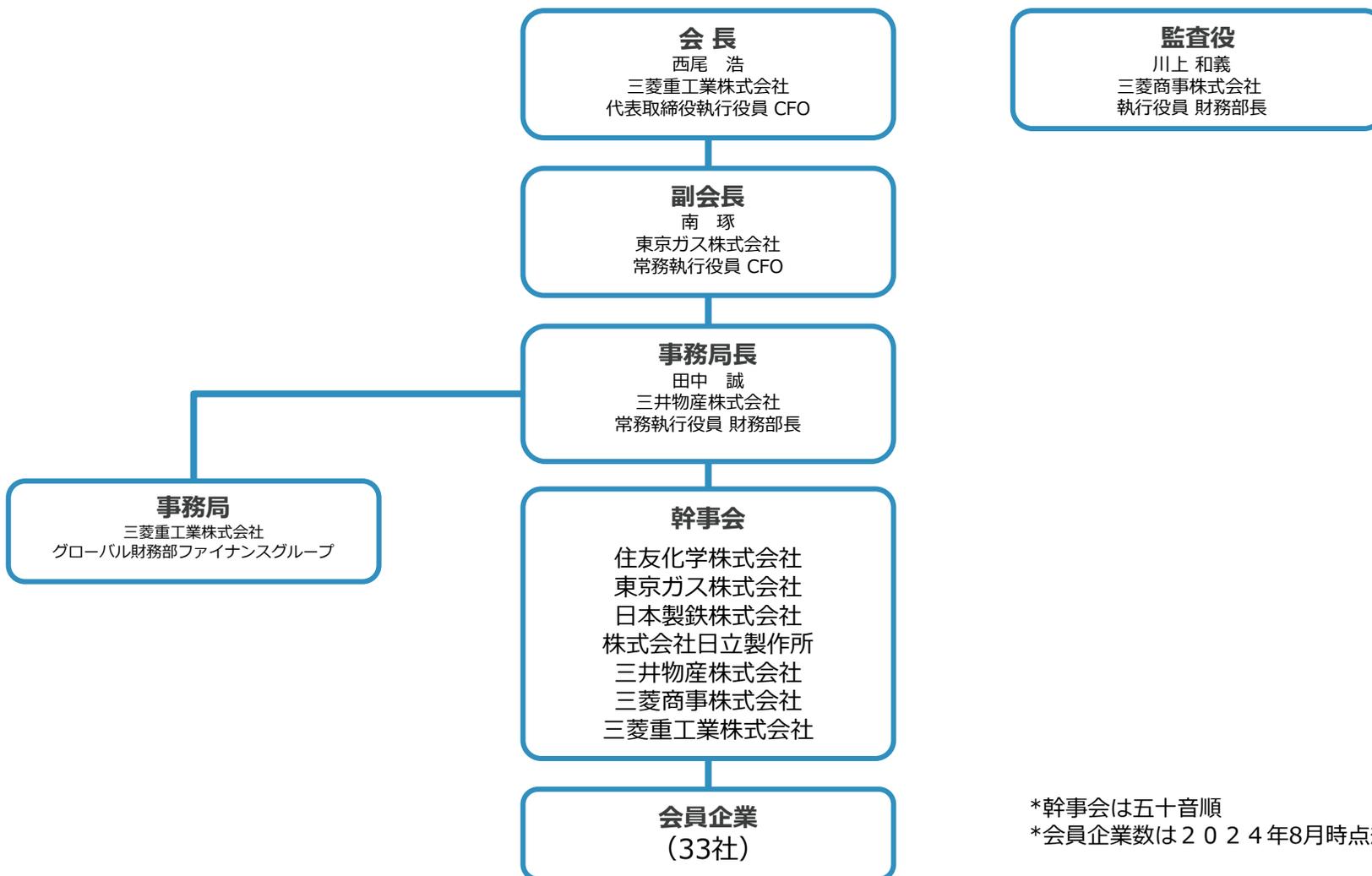
- 財務活動の効率化・高度化（RPA、Fintech等）
- 財務戦略（格付会社対応、金融機関政策、株主還元政策、調達戦略等）
- リモートワークにおける財務活動の課題
- 財務分野における生産性向上
- グローバルキャッシュマネジメント（金融子会社の機能高度化）
- ブロックチェーン基盤を活用した社債型セキュリティ・トークン（デジタル債） 他

活動内容

- 会員企業のニーズを吸い上げ、内容に応じて個別に活動を計画、実行する。
- 候補に掲げたようなテーマに関して、取り組みが進んでいる会員企業に事例紹介を依頼し、同様の関心事項を持つ企業間でディスカッション出来るような機会を提供することも検討する。

FY 2025 運営体制

- 2025年7月の総会を以て、2025年8月1日より新体制となる予定です。
- 7社の企業で構成された幹事会は定期的には開催され、協議会の運営の中心的な役割を担います。
- 今年度より、監査役を従来の2社体制から1社体制に変更します。（現状の本会の収支内容がシンプルであるため）



*幹事会は五十音順
*会員企業数は2024年8月時点想定